学校番号	1009

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	子どもの発達と保育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	子どもの発達と保育 新訂版（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

子どもの発達の特性、子どもの発達過程、子どもの生活、子どもの保育、子どもの福祉と子育て支援等について学びます。
保育所実習や、絵本の制作、離乳食の調理実習なども予定しています。
子どもに関心をもち、子どもを取り巻く環境や課題について考えましょう。

2　学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育む。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	子どもの発達や子育て支援について関心をもち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身につけている。	子どもを生み育てることや、家族の役割や地域の子育て支援などについて課題を見いだし、思考を深め、適切に判断し、創意工夫し表現する能力を身につけている。	子どもと触れ合ったり、子育て支援を行っている人々と交流を図ったりする学習を通して、子どもの発達の特性や発達過程に対応した技術を身につけている。	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート 発表 自己評価	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート 発表 自己評価・相互評価 定期考査	学習状況の観察 ワークシートの記述 作品・レポート 発表・定期考査 自己評価・相互評価	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート・発表 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	子どもの発達の特性	発達と乳幼児期の意義	○			○	a:人間の発達に関して関心を持ち、乳幼児期の発達について意欲的に学習に取組もうとしている。 b:子どもの発達観について考察し、課題を見いだし、その解決をめざして考え判断し、表現している。 c:自分自身が現在どのような児童観・発達観をもっているのかを客観的に分析・考察することができる。 d:乳幼児期の重要性、発達と環境、発達観や児童観などに関する知識を身につけている。	授業観察 ワークシート レポート 定期考査
		発達と保育環境		○		○		
		児童観と発達観			○	○		
	子どもの発達の過程	子どもの発育	○			○	a:乳幼児期の身体的・生理的・精神的な発達の特徴について関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。 b:子どもの発達に関わるさまざまな条件や要素を理解し、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:保育所実習を通して、乳幼児の発達の観点から、子どもの特性や発達過程に対応できる技術を身につけている。 d:乳幼児期の身体的・生理的な発達の特徴を理解し、子どもとの関わり方に応用できる知識を身につけている。	授業観察 ワークシート レポート 自己評価 定期考査
		子どもの精神発達	○	○		○		
		人間関係の発達	○	○		○		
		保育所実習	○		○	○		
2学期	子どもの生活	生活と養護			○	○	a:子どもの生活全般について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもにとっての適切な生活の条件について思考し、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもの発達段階に応じた適切な生活援助のための技術を身につけている。 d:子どもの養護の必要性と目	授業観察 ワークシート 作品 発表 自己評価 相互評価 定期考査
		子どもの遊び		○	○			
		生活習慣の形成		○				
		健康管理と事故防止	○			○		

		絵本制作	○	○	○		的について理解し、必要な知識を身につけている。	
	子どもの保育	保育の意義と重要性	○			○	a:保育の意義、方法、環境等について関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。 b:子どもとの適切な関わりについて思考し、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:保育の現状と課題について調べ、自分の意見をまとめることができる。 d:保育の意義やその重要性に関して理解し、知識を身につけている。	授業観察 ワークシート レポート 定期考査
		家庭保育と集団保育	○	○		○		
		保育の方法	○	○	○			
3学期	子どもの福祉	子どもの福祉	○		○	○	a:児童福祉に関する考え方や法律・制度・機関等について、関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。 b:具体的な施策の必要性がわかり、今後の方向性を判断することができる。現代の問題点や課題について自身の考えを述べることができる。 c:現代における子ども・子育てに関わる問題点や解決法について自身で情報収集することができる。 d:児童福祉の考え方やそれに関わる制度を知識として習得している。それらを踏まえて、子どもや子育てを取り巻く問題点や課題にまで踏み込んで分析し、望ましい方向性について理解している。	授業観察 ワークシート 定期考査
		子育て支援	○	○		○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。